

V.G 槻輪だより

会報第33号
発行日 平成19年6月30日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介 四季を味わい、古き都を散策・長岡京市

長岡天満宮

長岡天満宮の入り口正面にそびえる、総御影石製の総重量50トンにもなる大鳥居をくぐる、市の天然記念物に指定されている樹高が約2.5mの「ギリシマツツジ」の参道で、樹齢は130年前後と推定されています。



平成10年 拝殿は美しい姿をしていますが、まです。拝殿は

八条ヶ池は、寛永15年(1638)に当時の領主・八条宮が造るよう命じた、灌漑用の溜め池です。外周は約1km、貯水量は約三万五千トンといわれています。豊かな池を二分する中堤は参道として使われており、中堤真ん中の石の太鼓橋は加賀前田侯の寄進とされています。

錦水亭は明治14年創業の老舗で、山階宮の命名により入ります。八条ヶ池を取り入れたの大小の教書屋つくりのお座敷が点在し、老松つつじ、桜に覆われた自然の大庭園と共にその景観は素晴らしく、名産物と竹林美を鑑賞しながら、タケノコ料理を頂けます。

本殿は昭和16年に京都平安神宮の社殿を拝領移築したもので、三間社流れ造り、素木の本殿で端正で丈

に既存の素木の拝殿を朱塗りにし増改築したものです。菅原道真公が大宰府に左遷されたときの名残りを惜しんだ地として、道真公をまつています。

埋蔵文化財センター

(財)長岡京市 埋蔵文化財センター
ここでは、調査係長 山本輝雄さんに説明頂きました。

エントランスホールには乙訓地区全域を含んだ大きな航空写真が展示されています。この写真で長岡京市の地形や、昔も今も交通の要所として変わらない事を説明して頂き、名神高速道路の山崎インターの重要性

を認識しました。長岡京市は、石器時代までさかのぼる歴史ある地域です。飛鳥・奈良時代には天皇を頂点とする古代国家がしだいに確立し、律令制度という法律に基づいて政治のしくみができあがりしました。

乙訓地方では民衆を治めるために郡司がおかれ、税を取る目的で民衆に与えた土地の区画(条里)が現在も水路となつて残っています。

乙訓は元は弟國と書いたようでここで見られる陳列棚に飾っています。桓武天皇は、藤原種継の進言により新都を決定したと言われています。

この後長岡京は洪水が起こり疫病が流行って、凶事が続いたため、早良親王の「崇りじや」という言葉で、たつた十年で長岡京を捨て平安京へと遷都することになりました。

桓武天皇が新たに未開の土地を開拓して長岡京を作ったのでなく、継体天皇に關係していた部族が住んでいたところでもあり、掘れば長岡京期以前の

遺跡が多く出てきて、どの時代の遺跡かを慎重に調査を要するとの事でした。

院のすぐ裏に走田9号墳(海印寺古墳)がある。7世紀はじめの円墳で石室は石材を組み合わせた家型の石棺が置かれていた。この石棺は現在、埋蔵文化財センターの入り口に置いてあるが、古墳は補修処理がされて公開されているので見学した。

海印寺十院のひとつで、9世紀はじめに僧道雄(どうゆう)が華嚴宗を学び、国家を守る道場として建てたのが始まり。華祥4年(851)年には国から毎年決まった援助を受けるなど、国家や皇室の庇護の元に大いに栄えたが、平安時代中期以後は衰え、後期には撰

政家藤原基房を祭る古社で、奥海印寺と長法寺の産土神(うぶすな)がみ)となっています。

鎌倉時代に入ると長法寺の法寺地区の氏神である走田神社に伝わる「的矢討ちの儀式」は、鎌倉時代に地元の家が弓を引いて厄払いや五穀豊穡を祈願したのが始まりとされ伝承してきました。

寂照院は我が国における孟宗竹の発祥地といわれ、中国江南地方原産の孟宗竹を、禅僧道元がこの地に植えたという言い伝えが残っている。

乙訓地方は今も有数の「たけのこ」の名産地である。今回は「長岡京ふるさとガイドの会」の副会長・金田英治さん他2名の方々に、長時間案内頂き有り難う御座いました。

走田とは走り穂、初穂を作る田、つまり早稲田の守護神として有名です。天津児屋根命(あめのこやねのみこと)など春日四神を祭る古社で、奥海印寺と長法寺の産土神(うぶすな)がみ)となっています。



8月度行事予定

「幻から現の都・ロマンを尋ねる：長岡京市」
月 日：平成19年8月23日(木)
月 集合場所：JR長岡京駅 東口広場 12:30集合
順 路：JR長岡京駅→神足遺跡→土塁・空堀→神足神社→勝竜寺城公園→勝龍寺→中山修一記念館→サントリービール工場
見学→バスで阪急長岡京駅 (ガイドをお願いしています)

7月度行事予定

「淀川の偉大さ大切さと介護を考える：大塚地区」
月 日：平成19年7月19日(木)
月 集合場所：JR高槻駅南 市バス④乗り場 13:00集合
順 路：JR高槻駅南→東和町下車→ローズマリ→大塚神社→善立寺→西応寺→洪水記念碑→枚方大橋北詰→高槻駅